

自然環境保全基礎調査結果の概要

(有明海・八代海)

平成15年6月9日

環境省自然環境局自然環境計画課

自然環境保全基礎調査の目的

1 根拠・経緯

「自然環境保全法」の総則部分に「基礎調査の実施」を位置付け。

昭和48年度に第1回自然環境保全基礎調査を実施。以後概ね5年を一区切りに調査を行い、現在平成11年度を初年度とする第6回調査を実施中。

自然環境保全法（昭和47.6.22制定）

（基礎調査の実施）

第四条 国は、おおむね五年ごとに地形、地質、植生及び野生動物に関する調査その他自然環境の保全のために講ずべき施策の策定に必要な基礎調査を行うよう努めるものとする。

2 目的・趣旨

自然環境保全施策を科学的・客観的アプローチから推進するための主要な基礎資料を提供。具体的には、

- (1) 全国的な観点から自然環境の現状を的確に把握
- (2) 概ね5年ごとに行う調査の積み重ねにより長期的な視点から自然の時系列的変化を把握
- (3) 調査成果を記録、保存、公開し、自然環境のデータベースを整備
- (4) 国土計画、環境基本計画、自然公園等の自然環境保全計画、環境アセスメント等、各種計画策定や開発計画立案に際しての基礎資料を提供

3 調査方法・体制

- (1) 各分野の専門家による「自然環境保全基礎調査検討会」を設置し、調査内容、調査方法及び調査結果のとりまとめ等について検討
- (2) 各調査は、都道府県、公益法人・民間会社等への委託・請負で実施。また、学会や専門家、鳥獣保護員等への情報提供依頼、一般市民のボランティア参加も併用して広範な情報を収集

自然環境保全基礎調査(陸水域・海域)の概要

調査回次		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
調査年度		S48	S53～54	S58～62	S63～H4	H5～10
調査対象分野・項目						海域基礎調査(H9～13)を含む
陸水域	湖沼	◆内容 陸水域自然度調査として67湖沼、51河川の自然性を判定	◆内容 天然487湖沼の湖岸改変、透明度、魚類相等 ◇結果 非改変湖沼は約半分	◆内容 同左(483湖沼) ◇結果 外国産移入魚増加傾向	◆内容 同左(480湖沼) ◇結果 自然湖岸約57%、非改変湖沼は約44%	
	河川	◇結果 自然性を保つ湖沼・河川 5湖沼・4河川、自然性を失っている湖沼・河川 12湖沼・9河川	◆内容 河岸改変、横断工作物、魚類相等(113一級河川) ◇結果 原生流域108ヶ所抽出	◆内容 同左 ◇結果 外国産移入魚増加傾向 原生流域11削除、3追加	◆内容 同左(76一級河川、72二級河川等、計153河川) ◇結果 原生流域3ヶ所削除、1ヶ所追加	◆内容 河岸改変、横断工作物等(113一級河川) ◇結果 原生流域3ヶ所追加
	湿地					◆内容 湿地分布、動植物、水文、水質等 ◇結果 湿地リスト約2,000ヶ所抽出
海域	海岸改変	◆内容 海域自然度調査として全国の海岸線改変や代表的な17海域の水質、生物分布調査から自然性を判定	◆内容 海岸改変、立入可能性等 ◇結果 自然海岸(本土部)は5割弱	◆内容 同左 ◇結果 自然海岸2.3%、565km減少	◆内容 同左 ◇結果 自然海岸1.4%、296km減少 減少傾向鈍化	◆内容 同左 ◇結果 自然海岸2.1%、692km減少
	干潟・藻場 サンゴ礁分布	◇結果 約60%が自然海岸として比較的自然性を保持 17海域では、5海域が本来の自然を比較的保持、特に自然性が失われている海域は4海域	◆内容 干潟藻場サンゴ礁全国分布・消滅状況 ◇結果 30年間で干潟35%消滅		◆内容 干潟藻場サンゴ礁全国分布・消失状況 ◇結果 10年間で干潟藻場1万ha減少 1/10万サンゴ礁分布図作成	◆内容 干潟藻場サンゴ礁全国分布 ◇結果 10m以浅の浅海域で、干潟・藻場・サンゴ礁の分布を把握

自然環境保全基礎調査(陸水域)結果概要

◆河川改変状況

		総延長(km)	水際線		
			人工化(%) *1	自然(%) *2	
全	国	第2回	11,425	19.2	80.8
		第3回	11,412	21.4	78.6
		第5回	11,388	23.5	76.5
有明海	筑後川	第2回	122	32.5	67.5
		第3回	122	44.6	55.4
		第5回	122	40.9	59.1
	矢部川	第2回	59	27.8	72.2
		第3回	59	51.0	49.0
		第5回	58	31.6	68.4
	六角川	第2回	47	35.3	64.7
		第3回	47	46.8	53.2
		第5回	46	55.0	45.0
	嘉瀬川	第2回	60	8.0	92.0
		第3回	60	26.0	74.0
		第5回	53	41.7	58.3
	本明川	第2回	16	100.0	0.0
		第3回	16	100.0	0.0
		第5回	18	94.2	5.8
	菊地川	第2回	70	24.1	75.9
		第3回	70	18.3	81.7
		第5回	68	25.3	74.7
	白川	第2回	62	53.2	46.8
		第3回	62	31.9	68.1
		第5回	63	55.6	44.4
	緑川	第2回	68	45.9	54.1
		第3回	68	10.7	89.3
		第5回	71	44.6	55.4
	小 計	第2回	504	34.6	65.4
		第3回	504	35.3	64.7
		第5回	499	43.4	56.6
八代海	球磨川	第2回	108	42.1	57.9
		第3回	108	18.9	81.1
		第5回	113	60.9	39.1

[備考]

*1 人工化：水際線がコンクリート護岸、石積護岸、矢板等の工作物で構成

*2 自 然：水際線が上記の工作物で構成されていない自然地

自然環境保全基礎調査(海域)結果概要

◆海岸改変状況 (km)				
	第2回調査	第3回調査	第4回調査	第5回調査
全国	32,170.21 (100.0%)	32,471.85 (100.0%)	32,778.88 (100.0%)	32,799.02 (100.0%)
自然海岸	18,967.17 (59.0%)	18,402.08 (56.7%)	18,105.65 (55.2%)	17,413.94 (53.1%)
半自然海岸	4,340.36 (13.5%)	4,511.44 (13.9%)	4,467.49 (13.6%)	4,252.79 (13.0%)
人工海岸	8,598.95 (26.7%)	9,294.54 (28.6%)	9,941.78 (30.3%)	10,821.58 (33.0%)

	第2回調査	第3回調査	第4回調査	第5回調査
有明海	498.54 (100.0%)	504.81 (100.0%)	506.01 (100.0%)	514.19 (100.0%)
自然海岸	100.41 (20.1%)	98.72 (19.6%)	95.82 (18.9%)	88.65 (17.2%)
半自然海岸	133.37 (26.8%)	130.51 (25.9%)	128.22 (25.3%)	126.46 (24.6%)
人工海岸	256.00 (51.3%)	266.82 (52.9%)	273.21 (54.0%)	284.81 (55.4%)

	第2回調査	第3回調査	第4回調査	第5回調査
八代海	752.25 (100.0%)	722.90 (100.0%)	724.14 (100.0%)	739.46 (100.0%)
自然海岸	350.11 (46.5%)	334.13 (46.2%)	331.02 (45.7%)	315.94 (42.7%)
半自然海岸	78.53 (10.4%)	75.60 (10.5%)	74.87 (10.3%)	82.57 (11.2%)
人工海岸	319.77 (42.5%)	309.33 (42.8%)	314.41 (43.4%)	333.08 (45.0%)

[備考]

- ・ 河口部延長は含まれていない
- ・ () 内はそれぞれの海域に占める割合
- ・ 自然海岸：海岸（汀線）が人工によって改変されていないで自然の状態を保持している海岸
- ・ 半自然海岸：道路、護岸、テトラポット等の人工構築物で海岸（汀線）の一部に人工が加えられているが、潮間帯においては自然の状態を保持している海岸
- ・ 人工海岸：港湾・埋立・干拓等により著しく人工的に作られた海岸等、潮間帯に人工構築物がある海岸

自然環境保全基礎調査(海域)結果概要

◆現存干潟の面積(ha)

	第4回調査				第5回調査 H7～8
	S53 (A) *1	H1～3 (B)	(A)-(B) *2	減少率	
全国	55,300 (100.0%)	51,443 (100.0%)	3,857	7.0%	49,380 (100.0%)
有明海	22,070 (39.9%)	20,713 (40.3%)	1,357	6.1%	20,237 (41.0%)
福岡県	3,137 (5.7%)	1,956 (3.8%)	1,181	37.6%	
佐賀県	9,612 (17.4%)	9,585 (18.6%)	27	0.3%	
長崎県	2,655 (4.8%)	2,606 (5.1%)	49	1.8%	
熊本県	6,666 (12.1%)	6,566 (12.8%)	100	1.5%	
八代海	4,604 (8.3%)	4,405 (8.6%)	199	4.3%	3,989 (8.1%)
熊本県	4,402 (8.0%)	4,203 (8.2%)	199	4.5%	
鹿児島県	202 (0.4%)	202 (0.4%)	0	0.0%	

◆現存藻場の面積(ha)

	第4回調査				第5回調査 H7～8
	S53 (A) *1	H1～3 (B)	(A)-(B) *2	減少率	
全国	207,615 (100.0%)	201,212 (100.0%)	6,403	3.1%	142,459
有明海	2,066 (1.0%)	1,640 (0.8%)	426	20.6%	1,599 (1.1%)
長崎県	383 (0.2%)	383 (0.2%)	0	0.0%	
熊本県	1,683 (0.8%)	1,257 (0.6%)	426	25.3%	
八代海	1,358 (0.7%)	1,339 (0.7%)	19	1.4%	1,141 (0.8%)
熊本県	610 (0.3%)	593 (0.3%)	17	2.8%	
鹿児島県	748 (0.4%)	746 (0.4%)	2	0.3%	

[備考]

・ () 内は全国面積に占める割合

*1 第4回調査の調査対象に合わせて、第4回調査時に第2回調査結果を取りまとめた値

*2 昭和53年以降、第4回調査時(平成元年～3年)までに1ha以上消滅した面積